

スクールマネジメント実践報告書

106 直江津中学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	○目標をもって自ら学ぶ子 ○互いに認め合い高め合う子 ○自らを律し心と体を鍛える子
本校の目指す子ども像	お互いに認め合い、自ら学び、自らを律し、社会に貢献しようとする生徒



小中一貫教育の具体的な取組		
実現に向けた重点的な取組内容	本校の取組	
	<ul style="list-style-type: none"> ・数学、英語、情報教育を中心に、学力向上に向けた各学校の実践を共有し、共通実践事項の自校化を図る。 ・相互に授業を参観し、授業改善に生かすことで小中の授業のギャップを小さくする。 	中学校区の全ての教職員が「教育課程」、「学力向上」、「特別支援教育」、「人権教育、同和教育」、「生徒指導」の5つの部会に分かれて、情報交換と実践の共有を行っている。
	成果○と課題■	成果○と課題■
	○小学校の学習の様子を理解し、授業改善に生かすことができた。 ■共通実践事項について、実践の成果を評価し、取組の改善を定期的に行う必要がある。	○中学校区の課題を明らかにするとともに、課題や実践を共有することができた。 ■実践内容の評価・検討を行うとともに、計画的に取り組むことができるようにする。

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
当校のスクールポリシーである「いざ世のために」の実現に向け、また、自己の生き方を考え、夢や目標の実現に向けて取り組む活動を行った。 体験活動や講話、訪問を通して、自己を見つめ直し、自己の生き方を考えるようになった。	総合	地域探究学習「直江の津」（1年）
	総合	職業人に学ぶ「職業講話」（2年）
	総合	進路探究学習（3年）
学校運営協議会の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に地域との繋がりを大切に活動に取り組んでいる。 ・学校便りなどで生徒の活動の様子が地域にも丁寧に紹介されている。 ・生徒は、地域の人たちと触れることで、ふるさと「直江津」への愛着と誇りを改めて感じる事ができた。 	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
		当てはまらない

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	2人	住民	7人	その他	3人	合計	13人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回(0)	2学期	1回(0)	3学期	1回(0)	合計	3回(0)
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	0回(0)	2学期	0回(0)	3学期	1回(1)	合計	1回(1)

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革や部活動の地域移行、感染症対策等、学校の現状と今後の教育活動について、委員の皆様からご理解を頂いた。 ・学校支援団体の今後の在り方について協議を行った。 ・教育活動の成果や課題、学校評価を共有し、委員の皆様からは次年度に向けた取組の視点や具体的に支援いただけることについて提案を頂いた。 	<p>○令和5年度の教育活動に向けて、地域貢献活動の在り方や総合的な学習の時間の講師等について、学校を支援するための具体的な方策について協議を進めた。</p> <p>■講師やボランティア等、地域からの協力をいただく上で、学校の取組や要望を地域にどの様に発信し、人材を確保していくかが課題である。</p>

地域とともにある学校づくりの総括及び教育委員会への要望・意見
<p>コロナ禍における教育活動において、地域がどのように支援していくことができるのか協議を深めることが出来た。今後も、地域の資源を生かして具体的な支援を行っていく。</p>

〈活動写真〉



○地域探究学習「直江の津」(1年) 直江津地区を中心に30を超える事業所や施設などを訪問し、校外学習を行いました。



○職業人に学ぶ「職業講話」(2年) 8事業所から講師をお招きし、仕事をする上で大切にしていることなどをお聴きする「職業講話」を行いました。



○進路探究学習「環境学習講座」(3年) 秋の海岸・街中清掃の前に、環境保全活動に取り組まれている講師を招き講座を開きました。